



石油資源が なくなったとき、 どうやって 生活して いきますか？

その2



鷹木 恵子

(桜美林大学人文学系 教授)

石山 俊

(地球研 プロジェクト研究員)

わたしたちの生活は、石油、石炭、天然ガスといった再生不可能な化石燃料に大きく依存しながら成り立っています。化石燃料時代はいつか終焉を迎えますが、エネルギーの大量消費を伴わない、「持続的生活」が根付くためには、「新しい人間文化像」を考えていく必要があるでしょう。前回(第32回市民セミナー)では、「市民は今どうするべきかについて提言を」という強い要望をいただきました。それをふまえ今回のセミナーでは、日本の農村とアフリカの生活をヒントにポスト石油時代の生活像を模索してみたいと思います。

9月17日 (金)

15:00 ~ 16:30 (14:30開場)

場所: 地球研講演室

定員: 100名(先着順)

大学共同利用機関法人 人間文化研究機構

主催: 総合地球環境学研究所



一 交通案内
<叡山電鉄鞍馬線をご利用の場合>
「京都精華大学前」又は「二軒茶屋」駅から徒歩約10分

<地下鉄とバスをご利用の場合>
地下鉄烏丸線「国際会館」駅から京都バス40系統または50系統に乗り、「地球研前」下車

聴講無料

お申し込み
お問い合わせ
メール・お電話・
FAXにて右記まで
お申込みください

総合地球環境学研究所 総務課企画室
E-mail shimin-seminar@chikyu.ac.jp
TEL (075)-707-2173 FAX (075)-707-2106
URL <http://www.chikyu.ac.jp>